

「平成29年度全国学力・学習状況調査」の結果について

【富里市立富里南中学校】

平成29年4月18日(火)に、小学校第6学年全児童、中学校第3学年全生徒を対象として、「全国学力・学習状況調査」が実施されました。本校の実施結果についてお知らせします。

1 生徒が受けた調査について

「国語A・B」、「数学A・B」、「生徒に対する質問紙調査」の調査が実施されました。それぞれの内容は下記のとおりです。

(1) 教科に関する調査

〔主として「知識」〕 国語A, 数学A	〔主として「活用」〕 国語B, 数学B
身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

出題範囲：調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則

(2) 生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

*調査問題は「国立教育政策研究所」のHPで閲覧できます。

<http://www.nier.go.jp/17chousa/17chousa.htm>

2 本校生徒の調査結果

全国公立中学校の平均正答率（以下全国平均）と本校生徒の状況

(1) 教科の調査結果から

国語A（知識）	基礎的な言語活動や言語事項に関する知識・技能に関する問題	C
国語B（活用）	基礎的な知識・技能を活用する問題	C
数学A（知識）	数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能に関する問題	C
数学B（活用）	基本的・基礎的な知識・技能を活用する問題	C

☆ 全国平均正答率との比較について

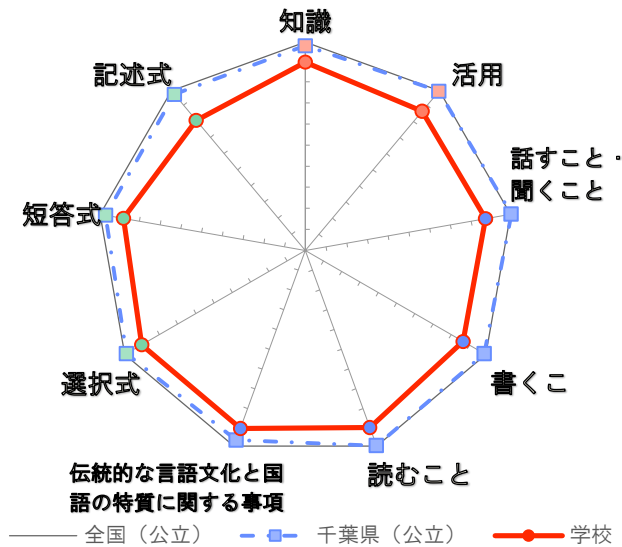
A：+5.0%より上回っている場合「良好」

B：+5.0%～-5.0%の場合「ほぼ同じ」

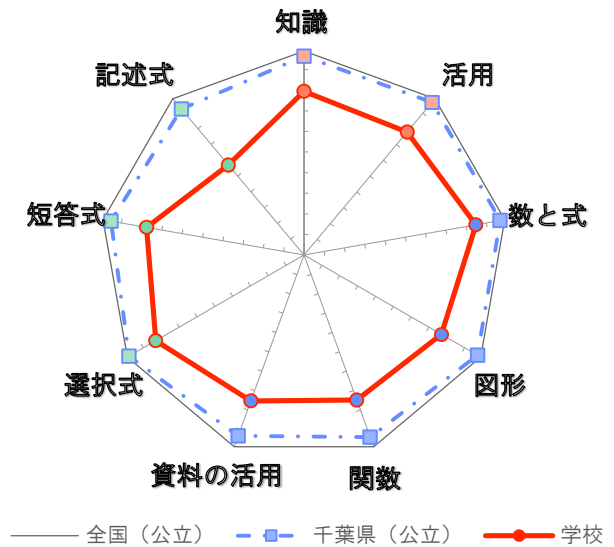
C：-5.0%より下回っている場合「要改善」

(2) レーダーチャート

<国語>



<数学>



3 結果分析

(1) 学習面について

①特徴

国語では、「読むこと」、「話すこと・聞くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において、全国平均に近づいています。反面、「書くこと」や「記述式」の問題に苦手意識が見られました。

数学では、「記述式」の分野において大きく下回っています。「数と式」の領域では、全国平均には及ばないものの、昨年度とほぼ同じ正答率です。引き続き基礎・基本となる技能の定着に努めてまいります。

②分析

国語の分野においては、話を聞いて文章を書くことに対して苦手意識があります。文章を書く問題の練習を増やす必要があります。また、学校でも朝に読書をする時間を設けていますが、まだまだ読書をする習慣が身につけていないようです。

数学では、計算のみの問題は、授業でもよく練習を行っていますが、文章問題や答えを記述する問題に対しては苦手意識が強く、しっかりと書けないようです。国語の「書くこと」の項目が低いことと関連があります。また、関数に対するに苦手意識も強く、授業においても理解するまで粘り強く取り組む姿勢が足りないようです。

全体を通して、もっと読書をする習慣を身につけさせ、家庭学習等で、多くの問題を解く練習をする必要があります。

(2) 生徒質問紙調査から

分析結果を箇条書きで以下に載せます。

- ・毎日朝食を食べている生徒が多い。
- ・毎日同じ時刻に寝て、起きている生徒の方が、数学の正答率が高い。
- ・「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」と解答した生徒の割合が高く、正答率と相関がある。
- ・失敗を恐れずに挑戦する生徒の方が、国語の活用における正答率が高い。
- ・自己肯定感が高い生徒が過半数を超えており、正答率と相関がある。
- ・自分の考えを発表できると答えている生徒ほど、正答率が高い。
- ・正答率に関係なく、人の話を最後まで聞けると答えている生徒が多い。
- ・人の話を聞いて自分の考えを持つことができる生徒が多く、正答率と相関がある。
- ・授業で学んだことを他の学習に生かしている生徒ほど、正答率が高い。
- ・テレビを見る時間と正答率には相関はないが、ゲームの時間が増えるほど、正答率は下がっている。
- ・1日の学習時間が3時間以上の生徒は少ないが、時間に比例して正答率は上がっている。
- ・土日と平日の学習時間はほぼ一定で、塾に通っている生徒は少ない。
- ・1日2時間以上読書をしている生徒の正答率が高いが、それ以下では読書時間と正答率の間に比例の関係性は見られない。

総評として、生徒のやる気や学習に対する関心・意欲は高いです。また、規範意識が高く、自己肯定感や自尊意識も高いので、学校生活における様々な活動に意欲的に取り組んでいることがうかがえます。反面、読書や学習内容の復習などが習慣化されていないため、調査結果に反映されていないものと推察できます。

4 まとめ

- ・学校では朝読書の時間を取り入れておりますが、より一層、読書の習慣が身につくようにご家庭でもご協力をお願いします。
- ・国語・数学ともに、基礎・基本の定着と記述式の問題に苦手意識が見られるので、授業においても作文練習や記述式の問題演習など指導をさらに強化するようにいたします。
- ・普段から、学校でも家庭学習の手引きを発行したり、効果的な学習について考えさせたり、点検活動や呼びかけを行ったりすることを通して、家庭学習を定着させるように指導しておりますが、ご家庭でも引き続き声かけなどのご協力をお願いします。